令和９年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和８年11月11日

上 場 会 社 名　　中日本興業株式会社　　上場取引所　　名
コ ー ド 番 号　　9643　　URL　http://www.nakanihonkogyo.co.jp
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）貴田　吉晴
問合せ先責任者（役職名）取締役 感動創造支援本部本部長　　（氏名）加藤　康章　　(TEL)052-551-0274
半期報告書提出予定日　　令和８年11月12日　　配当支払開始予定日　　令和８年12月２日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和９年３月期第２四半期（中間期）の業績（令和８年４月１日～令和８年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
９年３月期中間期	2,065	△6.5	112	△32.0	120	△30.6	98	△31.4
８年３月期中間期	2,210	24.8	165	―	173	―	143	―

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
９年３月期中間期	185.67	―
８年３月期中間期	270.73	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
９年３月期中間期	6,182	3,827	61.9
８年３月期	5,888	3,604	61.2

（参考）自己資本　　９年３月期中間期　3,827百万円　　８年３月期　3,604百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
８年３月期	―	30.00	―	30.00	60.00
９年３月期	―	30.00			
９年３月期(予想)			―	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．令和９年３月期の業績予想（令和８年４月１日～令和９年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,760	△8.8	50	△69.6	70	△62.6	50	△60.9	94.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	９年３月期中間期	540,000株	８年３月期	540,000株
②　期末自己株式数	９年３月期中間期	9,443株	８年３月期	9,443株
③　期中平均株式数（中間期）	９年３月期中間期	530,557株	８年３月期中間期	530,557株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境において改善の動きが続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、継続的な物価上昇や人件費の高騰、中東やウクライナに代表される地政学的リスクの長期化によるエネルギー価格の高止まりなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社では、よりご満足いただける環境を創りあげ、厳選した様々な作品・商品をご提供することで、お客様により楽しんでいただけるよう努めてまいりました。

その結果、売上高は20億65百万円（前年同期比6.5％減）、営業利益は１億12百万円（前年同期比32.0％減）、経常利益は１億20百万円（前年同期比30.6％減）、中間純利益は98百万円（前年同期比31.4％減）となりました。

【シネマ事業】

シネマ部門では、「映画ちいかわ　人魚の島のひみつ」、「名探偵コナン　ハイウェイの堕天使」、「トイ・ストーリー５」などのアニメ作品がヒットしました。また、７月31日よりエネルギー価格の高騰や人件費の上昇、各種設備維持への負担増等により映画鑑賞料金改定を実施いたしました。

当上半期の主な上映作品としまして、邦画では、４月公開「SAKAMOTO DAYS」、７月公開「キングダム　魂の決戦」、８月公開「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」、９月公開の「踊る大捜査線　N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ！」、洋画では、５月公開「プラダを着た悪魔２」、「スター・ウォーズ／マンダロリアン＆グローグー」、６月公開「Michael／マイケル」、７月公開の「スパイダーマン：ブランド・ニュー・デイ」、アニメでは、４月公開「名探偵コナン　ハイウェイの堕天使」、「ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー」、７月公開の「トイ・ストーリー５」、「映画ちいかわ　人魚の島のひみつ」、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）では、８月公開「山下達郎シアター・ライヴ　PERFORMANCE 1984－2012」、９月公開の「THE ALFEE 3000PREMIUM～トラベリングバンドが刻んだ3000本の奇跡と軌跡～」などの番組を編成いたしました。

また、「どまんなかアニメ映画祭」や「予告上映＆宣伝大会」などの独自のイベントの企画運営を実施する他、貸館としてスクリーンを利用していただくなど、施設の有効活用にも努めてまいりました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、食材高騰のなか仕入れ先の調整や価格の見直しを実施し、収益改善に努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、ドーナツのリニューアル、映画作品とのコラボレーション商品の開発・販売を積極的に実施してまいりました。

この結果、当事業では売上高は17億91百万円（前年同期比10.5％減）、セグメント利益は１億８百万円（前年同期比33.6％減）となりました。

【アド事業】

当事業は、看板・バナーの制作、展示会の設営などの営業活動を継続し、お客様のニーズに沿った商品・サービスに努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

また、利益についても前年同期に比べ改善したものの、原材料費や労務費の高騰等の影響もあり、損失を計上する結果となりました。

この結果、当事業では売上高は２億８百万円（前年同期比40.5％増）、セグメント損失は７百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

当事業は、売上は堅調に推移するなか、令和８年７月には新規賃貸物件となるクリニックテラス覚王山２（医療モール第二計画）の建物が竣工いたしました。

この結果、当事業では売上高は65百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は10百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は61億82百万円となり、前事業年度末に比べ２億94百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産の増加２億91百万円によるものであります。

負債は、23億54百万円となり、前事業年度末に比べ70百万円の増加となりました。主な要因は、固定負債の増加３億３百万円によるものであります。

純資産は、38億27百万円となり、前事業年度末に比べ２億23百万円の増加となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和９年３月期の業績予想につきましては、令和８年５月13日公表時から変更はございません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （令和８年３月31日）	当中間会計期間 （令和８年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,244	787,237
受取手形及び売掛金	312,278	295,888
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	14,278	15,506
原材料及び貯蔵品	9,740	13,279
前払費用	34,065	38,349
預け金	37,458	38,167
その他	28,530	50,291
流動資産合計	1,536,597	1,538,720
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,314,563	1,661,492
構築物（純額）	40,039	67,853
機械装置及び運搬具（純額）	60,473	56,655
工具、器具及び備品（純額）	231,627	204,645
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	248,508	－
有形固定資産合計	2,591,124	2,686,560
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウエア	83,357	83,533
無形固定資産合計	84,505	84,680
投資その他の資産		
投資有価証券	1,189,141	1,393,793
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	456,745	451,605
長期前払費用	20,685	17,448
投資その他の資産合計	1,676,573	1,872,847
固定資産合計	4,352,203	4,644,089
資産合計	5,888,800	6,182,810

（単位：千円）

	前事業年度 （令和８年３月31日）	当中間会計期間 （令和８年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	418,008	431,236
短期借入金	110,000	－
１年内返済予定の長期借入金	34,992	49,992
リース債務	74,752	65,019
未払金	14,924	6,467
未払法人税等	42,691	26,855
未払消費税等	111,930	－
未払費用	124,776	117,455
契約負債	68,531	69,473
従業員預り金	10,915	5,369
賞与引当金	19,268	19,748
その他	46,312	52,744
流動負債合計	1,077,104	844,360
固定負債		
長期借入金	518,354	784,608
リース債務	118,333	88,647
退職給付引当金	86,388	89,475
長期未払金	62,120	59,051
資産除去債務	92,975	93,740
受入保証金	75,020	75,020
繰延税金負債	253,766	320,041
固定負債合計	1,206,958	1,510,583
負債合計	2,284,062	2,354,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	27,513	11,596
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	326,795	425,304
利益剰余金合計	2,801,809	2,884,400
自己株式	△72,618	△72,618
株主資本合計	2,999,204	3,081,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	605,533	746,070
評価・換算差額等合計	605,533	746,070
純資産合計	3,604,738	3,827,865
負債純資産合計	5,888,800	6,182,810

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 令和７年４月１日 至 令和７年９月30日）	当中間会計期間 （自 令和８年４月１日 至 令和８年９月30日）
売上高	2,210,133	2,065,565
売上原価	1,123,249	1,036,063
売上総利益	1,086,883	1,029,501
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	24,181	24,813
人件費	338,460	340,533
賞与引当金繰入額	19,330	19,748
退職給付費用	5,288	3,087
減価償却費	94,603	89,215
地代家賃	200,348	200,754
水道光熱費	49,245	46,499
修繕費	1,996	1,625
その他	188,247	190,865
販売費及び一般管理費合計	921,700	917,143
営業利益	165,182	112,358
営業外収益		
受取利息	2,081	2,834
受取配当金	10,052	12,296
協賛金収入	128	256
その他	2,763	1,581
営業外収益合計	15,024	16,968
営業外費用		
支払利息	3,393	5,280
長期前払費用償却	3,150	3,334
その他	333	391
営業外費用合計	6,878	9,005
経常利益	173,329	120,321
特別損失		
固定資産除却損	2,035	－
特別損失合計	2,035	－
税引前中間純利益	171,293	120,321
法人税等	27,656	21,813
中間純利益	143,637	98,508

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 令和７年４月１日 至 令和７年９月30日）	当中間会計期間 （自 令和８年４月１日 至 令和８年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	171,293	120,321
減価償却費	116,289	115,093
長期前払費用償却額	3,150	3,334
賞与引当金の増減額（△は減少）	330	480
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△433	3,087
受取利息及び受取配当金	△12,133	△15,131
出資分配金	△969	△233
支払利息	3,393	5,280
固定資産除却損	2,035	－
売上債権の増減額（△は増加）	△95,654	16,389
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,470	△4,767
その他の流動資産の増減額（△は増加）	70,144	△2,808
長期前払費用の増減額（△は増加）	△477	△97
仕入債務の増減額（△は減少）	38,124	13,228
未払金の増減額（△は減少）	40	△1,681
未払消費税等の増減額（△は減少）	－	△111,930
未払費用の増減額（△は減少）	21,572	△7,321
契約負債の増減額（△は減少）	3,704	941
その他の流動負債の増減額（△は減少）	18,126	△1,841
その他	59,379	△19,149
小計	394,444	113,194
利息及び配当金の受取額	12,133	15,131
利息の支払額	△3,393	△5,280
出資分配金の受取額	969	233
法人税等の支払額	△573	△33,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	403,581	90,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△80,000
定期預金の払戻による収入	－	50,000
有形固定資産の取得による支出	△215,889	△198,294
無形固定資産の取得による支出	△5,183	△17,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,073	△246,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	－	300,000
短期借入金の純増減額（△は減少）	110,000	△110,000
長期借入金の返済による支出	△17,496	△18,746
リース債務の返済による支出	△43,747	△39,419
配当金の支払額	△15,916	△15,916
その他	△3,069	△3,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,770	112,848
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	212,278	△43,007
現金及び現金同等物の期首残高	793,253	865,244
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,005,531	822,237

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前中間会計期間(自　令和７年４月１日　至　令和７年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,911,934	－	－	1,911,934	－	1,911,934
飲食店関連	89,982	－	－	89,982	－	89,982
看板製作及び広告関連	－	148,369	－	148,369	－	148,369
顧客との契約から生じる収益	2,001,916	148,369	－	2,150,286	－	2,150,286
その他の収入	－	－	59,846	59,846	－	59,846
外部顧客への売上高	2,001,916	148,369	59,846	2,210,133	－	2,210,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,001,916	148,369	59,846	2,210,133	－	2,210,133
セグメント利益又は損失（△）	163,927	△14,194	15,450	165,182	－	165,182

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間会計期間(自　令和８年４月１日　至　令和８年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	中間損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,710,212	－	－	1,710,212	－	1,710,212
飲食店関連	81,651	－	－	81,651	－	81,651
看板製作及び広告関連	－	208,428	－	208,428	－	208,428
顧客との契約から生じる収益	1,791,863	208,428	－	2,000,291	－	2,000,291
その他の収入	－	－	65,274	65,274	－	65,274
外部顧客への売上高	1,791,863	208,428	65,274	2,065,565	－	2,065,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	1,791,863	208,428	65,274	2,065,565	－	2,065,565
セグメント利益又は損失（△）	108,788	△7,424	10,995	112,358	－	112,358

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。